

このコーナーは市内のいろいろな出来事を紹介するコーナーです。皆さんの身近な出来事をお知らせください。

◆連絡先
安芸高田市 政策企画課
☎ 42-5627
〒731-0592
安芸高田市吉田町吉田791番地



©2016 S.FC

選手と一緒に楽しもう ふれあいサッカーフェスティバル

7月24日(日)、吉田サッカー公園において、「第23回ふれあいサッカーフェスティバル」が開催されました。

天候にも恵まれ、県内外の幼児と小学生約400名が参加し、バザーやイベントを楽しみました。

サッカー場では、サンフレッチェ広島のコーチとユース選手による練習指導、トップ選手の実技披露や選手と参加者によるふれあいミニゲームが行われました。

子供達は、間近で憧れの選手たちのプレーを見たり、共にプレーを楽しみ、生き生きとした表情でイベントを満喫していました。



多くの歴史・元就ファンが参列 毛利元就墓前祭

7月16日(土)は、戦国時代の中国地方を統一した、名将毛利元就の「命日」です。

今年は毛利元就の兄、毛利興元没後500年にもあたる年でした。

この日、毛利奉賛会により、毛利元就をはじめ興元や弘元の遺徳を偲ぶため、墓前祭が開催され、市内外そして県外からも多くの歴史ファン・元就ファンが参列し、墓前に手を合わせていました。また、昨年に引き続き安芸ひろしま武将隊も参列し、会場を盛り上げました。

最後は参列者全員で「百・万・一・心」と息を合わせた掛け声で会を締めくくりました。



市内有数の美しい“棚田”で交流会 第10回安芸高田市ボランティア交流会開催

7月17日(日)、八千代町本郷の棚田で市内のボランティアグループで作る「安芸高田市ボランティア連絡協議会」主催の交流会が開かれました。

毎年、市内の棚田で行われる交流会に、今年は約50名が参加し、美しい棚田の景観を守る草刈り作業が行われました。

作業の後は、棚田で作られたお米を水車により精米した水車米のおにぎりを食べて交流を深めました。参加者同士「作業は大変だったが、ボランティアは気持ちがいい。こんな近くに美しい棚田があるとは驚いた。今度は桜の季節に来てみよう。」と話されていました。



親善大使団が友好のかけ橋 安芸高田市青少年海外派遣事業壮行式

8月2日(火)、クリスタルアージョ小ホールにおいて、ニュージーランドへの派遣団に対する壮行式が開催されました。

応募により選ばれた市内の中学生20名と引率者2名が、8月12日(金)に出発し、現地でホームステイを中心とした語学・異文化体験を行います。また、姉妹都市のセルウィン町長に親書を渡し、本市との友好を深める一役も担います。

派遣団一行に対する激励を受け、生徒を代表し、八千代中学校の小浦里紗さんが、期待と意欲を力強くのべられ、また感謝の気持ちを伝えられました。



夏の到来を告げる一大イベント 第33回一心祭り開催

7月16日(土)、吉田運動公園を会場に、33回目となる一心祭りが、吉田町地域振興会を中心とした実行員会の主催により、盛大に開催されました。

祭りでは、幼稚園・保育所園児をはじめ、小学校児童、各種教室、芸能文化団体によるステージ発表のほか、一心節踊りや武者絵巻の実演などが行われました。また、安芸ひろしま武将隊が熱い演舞を披露し、会場は盛り上がりました。

5,000人を超える来場者は、バザーとステージを心ゆくまで満喫され、祭りのクライマックスでは、約2,300発の花火が夜空を飾り、大きな歓声を上げていました。



夏の一大合唱！ 第8回あきたかた市民合唱祭

7月10日(日)、高宮田園パラッツォにおいて、市民合唱祭が開催され、約350人の市民が集まりました。

出演者の皆さんは、日ごろの成果を充分に発揮され、美しいハーモニーが会場いっぱいに響き渡りました。また、アトラクションの安芸高田ウインドアンサンブルによる大迫力の演奏と、木管五重奏の美しいメロディに観客は癒されました。

フィナーレでは、安芸高田ウインドアンサンブルの演奏を背に、出演者と来場者全員で「上を向いて歩こう」を笑顔で楽しく合唱され、暑い夏にも負けない元気を感じました。



暑さをわすれて 涼しい夜に祭りで大賑わい 吉田の管絃祭・向原きてみん祭土曜夜市

7月30日(土)、吉田の管絃祭が稲田橋から胡子神社の間を歩行者天国にして、盛大に開催されました。

今年も、広島ご当地アイドル"etto-etto"のステージや毛利武者による三本の火矢が放たれる演出に歓声が上がっていました。バザーや奉納神楽を楽しみながら、多くの人で賑わいました。

また、同日向原ではきてみん祭土曜夜市が向原支所のイベントステージを中心に開催され、多くの人が祭りを心ゆくまで堪能しました。

出演団体による多彩なステージが繰り広げられ、涼しい夜に、商店街のバザーを楽しみながら、会場周辺は終始盛り上がりしていました。